

ニュースレター第35号をお届けいたします。今号は樋野先生とスタッフの増田が担当します。

『小さな世界』～偉大なるお節介～  
樋野興夫（順天堂大学名誉教授、新渡戸稻造記念センター長）



2025年11月19日 wifeと来日中のアメリカ ワシントン州とミシガン州に在住の娘家族(5人の孫たちも一緒)と『東京ディズニーランド』(Tokyo Disneyland) (千葉県浦安市舞浜)に赴いた。『小さな世界 (It's a Small World／イッツ・ア・スモール・ワールド)』を拝聴し 大いに感動した。

2025年11月21日沖縄県石垣市での息子の結婚式に家族全員で出席した。私は11月22日【ゆんたくシーサー農園】を散策した。宇宙の『樋野動物園』を実感した。米原ビーチ川平湾で、ボートに乗り、カラフルな多くの種類のサンゴ礁が眺めた。11月23日 息子の友人の司会で【ときリゾート コーラルテラス石垣島】の砂浜での結婚式であった。結婚式のパーティーで、私は閉会の挨拶を依頼された。

【『偉大なるお節介症候群』認定証】を語った(下記)。

貴殿は以下の診断基準を満たしたため、ここに認定いたします。

『偉大なるお節介症候群認定証』

- 1) 暇げな風貌
- 2) 偉大なるお節介
- 3) 速効性と英断



参加者の皆様は『偉大なるお節介症候群』に大変興味を持たれた。11月25日帰京した。大変貴重な有意義な『人生の忘れ得ぬ 石垣島の旅』となった。

## メディカル・カフェ



メディカル・カフェに初めて参加される方には、メディカル・カフェって何をするところなのか、心配されながら来られる方がいらっしゃいます。メディカル・カフェは、カフェの時間と呼ぶ「がん患者同士の意見交換の場」が中心だと思います。意見交換と言っても必ず発言を求められるわけでもなく、他の参加者のお話を聞くだけの参加も、もちろん大丈夫です。参加されて、名前を明かしたくない場合には仮名やニックネームでの参加も大丈夫です。

参加者の方の中には、病院でがんの告知をされて間もない方が今後の治療方針やどの病院で治療をするのが良いのか、若しくは、家族や知人が罹患されてどのように励まし、相談に乗つたら良いかなど、さまざまな悩みを抱えている方がお見えになります。皆さんのが大きな不安の中にいらっしゃるのですが、カフェの中で具体的に個別の具体的な内容に解決を与えることは難しいのですが、大きな意味で同じ“がん”と言う病気に長年にわたって苦しみ、回復に向けて努力をされてきた経験から語られるお話しに共感を与えられることが多くあることを見つきました。病気を通して与えられた経験や見識に、いつも驚かされています。

病院と違いますので治療や投薬はもちろんありませんが、心が少しでも元気になって頂く場としてのメディカル・カフェが本来の目的に沿つた集まり、そして場所として用いられることを今後も期待しています。

お茶の水メディカル・カフェ in OCC は、2011年樋野興夫先生と OCC 副理事長の榊原先生の出会いがあり、その翌年に初めて開催されました。2012年の初開催から13年が経過し93回を数えました。途中、榊原先生が天に召されたり、コロナ禍があつたりで中断がありましたが、再開後も49回の開催を数えます。（今年8月の「OCC メディカル・カフェ、ニュースレター32号」の青木様の記事より転載）

お茶の水メディカル・カフェが今後も継続し、皆様に安心して集つて頂く場となりますことを期待しています。

お茶の水がん哲学外来・メディカルカフェ in OCC スタッフ 増田 謙

